

## 令和元年度第7回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和元年10月21日（月曜日）午前10時00分から  
午前10時47分まで

場 所 教育委員会 第一会議室

出席委員 相澤一彦教育長、井上正信委員、村山晴香委員、  
松村昌子委員、大内あゆ子委員

欠席委員 なし

出席者 大内淳一教育次長兼教育総務課長、佐藤亨学校教育課長、  
熊澤輝生涯学習課長、高橋清見学校給食センター所長  
事務局（教育総務課職員）

### 議 事

議第22号 令和元年度天童市教育委員会感謝状贈呈について

議第23号 天童市立学校通学区域に関する規則の一部改正について

#### <大内委員就任あいさつ>

---

このたび教育委員を拝命いたしました大内あゆ子と申します。今後、皆さまのお力をいただきながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### <教育長あいさつ>

---

おはようございます。

まず初めに、10月から大内あゆ子さんを新たな教育委員ということで推薦させていただき、承認いただきました。よろしく願いいたします。

10月に入り、教育委員会としては新たなスタートを切ることになります。よろしく願いいたします。

今日は、2点についてお話ししたいと思います。

まず1点目は、天童の学校指針について御承知の方もいらっしゃると思いますが、再度確認の意味でお話しさせていただきます。

1つ目は、これまでの歩みを継承し、風化させないことが大切だと考えております。その中で、5年半前の1月7日にあった出来事を風化してはいけないと考えており、毎年、命日に現場に行ってお参りをさせていただいております。

2つ目は、これまでも重点的に取り組んできた特別支援教育の継続が大切だと考えております。特別支援教育は、鶴岡市などが先進地となっておりますが、天童市においても、これまで積み重ねたものを継続していくことが大切と考えて

おります。

3つ目は、学力の向上が大切と考えております。学力観が変わり、時代のニーズに伴った教育が必要と感じております。

さらに、4つ目として、新しい教育の流れへの対応が必要と考えております。その中でも、寺津小を委嘱校に指定し、来年度で市内全校のタブレット端末を整備するICTの活用、ALTを4名から8名に増員し、英検にも取り組んできた英語教育、そのほか道徳教育など、ますます重要性が増す中、天童市の教育は発展途上にあり、今後、ますます強化すべきと感じております。

2点目として、天童の教育での新たな可能性について、山形の教育（山形県教育振興計画）を基に話をさせていただきます。

1つ目は、「いのちをつなぐ人」で、多様性や個性を活かしていく人の育成が必要であると考えております。

2つ目は、「学び続ける、学びを生かす人」で、主体的、協働的、新たな価値を生み出す力が必要と考えております。

3つ目は、「地域とつながる、地域をつくる人」で、地域の良さや課題を捉え、主体的に地域をつくる人の育成が必要と考えております。

むすびになります。新たな体制でこれまでの良さを継承し、知恵を出し合っ  
て前進していきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をお願いし、あ  
いさつとさせていただきます。

## < 議 事 >

---

議第22号 令和元年度天童市教育委員会感謝状贈呈について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

議第23号 天童市立学校通学区域に関する規則の一部改正について

< 可決する >

審議経過 教育長： 児童・生徒数は増えていますか。  
教育次長： 増加傾向にあります。

教育長：その他に議事は無いようですので、第7回教育委員会会議を終了しま  
す。